

令和4年度第4回島田市環境審議会会議録

日 時	令和4年12月26日（月）15時30分から17時00分	
会 場	島田市役所3階 第2委員会室	
出席者	委 員	平井会長、木村副会長、浅見委員、竹林委員、岩本委員、永田委員、鈴木浩委員、戸塚委員、増田委員、山本委員
	事務局	松村地域生活部長、杉山課長、和田課長補佐、渥美主査、後藤主事、小林書記、杉山書記
傍聴人	1人	
開 会	地域生活部長挨拶	
諮 問	第3次島田市環境基本計画について	
議 事	(1)確認事項 「(仮称) ウインドパーク遠州東部風力発電事業」に係る環境影響評価準備書に関する環境の保全の見地からの意見（案）について ○報告 事前に配布したとおりとする。前回からの修正点は色付けしてある。 ○質疑 なし	
	(2)審議事項 第3次島田市環境基本計画について ○前回の意見についての見解 (事務局) まず前回ご意見いただいた目指すべき将来像にある風力発電のイラストについて、あくまでも特定事業を明示するものでなく、再生可能エネルギーを推進していくことを示したものであるということそのまま掲載したいと考える。また委員からいただいた、地元から反対の声も聴いているという御意見について、事業者及び事業区域付近の自治会長へ聞き取りを行ったが特に反対という意見はなかった。 (竹林委員) 環境基本計画とは島田市の環境施策の方向性を示すものだと理解している。であれば、民間事業者が行っている風力発電事業は載せなくても問題ないと思う。逆を言えば載せる必要もないと言えるのではないか。その他再エネがある中で風力発電を大きく載せる必要はないと感じる。外さないと市が全面的にバックアップしているような間違った印象を与えるのではないかと危惧している。 (事務局) 市民会議の中で出た意見を集約したものであり、あくまでも目指すべき将来像、イメージ図である。できれば残したいので、削るよりかは風力以外の再エネを追加し、再生可能エネルギーを推進していることを表現したいと考えている。	

(山本委員)

イラストについてはFCVやEVなどの環境的な取組よりも風力発電だけがかかなり大きく、目立ってしまっていることが問題だと思う。見え方の問題なので今後取り組んでいく様々な環境の施策をもっと大きくわかりやすく記載すればよいのではないか。

(平井会長)

たしかに風力発電以外の再エネがどこにあるのかわかりにくく感じる。委託業者とも協議してどのようにするか検討してほしい。

○説明

別添【審議事項】説明資料のとおり。

○質疑

(木村委員)

3点確認したい。

まず1点目。本文内でCO₂との表記があるが、正しくはCO₂なので確認してほしい。

2点目。48ページの「第4節ゼロカーボンシティ戦略」の下部「脱炭素社会の実現に向けたCO₂削減のイメージ」で森林吸収量等にほとんど変化がないが、森林対策は行わないということか。吸収量と削減量の双方で目標を立てることでネットゼロへ繋がるのではないか。

3点目。各施策について担当課を明記しないのか。他市町の計画では一覧表などにまとまっているので載せてはどうか。

(事務局)

まず1点目について、事前に委員へお送りした資料からさらに更新したものがあり、そちらの版では修正されている。

2点目。吸収源については県吸収量を市町数で按分した数字を使っているため実際の数字が分からないというところがある。そのため現状では据え置きとしている。市の政策としては増やしていきたいところでもあるので庁内で調整しつつ検討していく。

3点目の所管課の明記について、本文中では複数の施策をまとめて記載しているので1つひとつに対して所管を記載するのは難しい。ただ、毎年出している環境報告書では明記しているので計画の資料編に記載することはできるが現状は記載しない方向でまとめている。

(浅見委員)

まず生物多様性について述べたい。先日COP15で生物多様性条約の枠組みが採択されたばかりであり、その中で30by30を主流化する話があった。前審議会での意見を反映して生物多様性やOECM、30by30を入れていただいたがこれは周辺自治体との明確な差別化になると思う。ただそれについて2点気になる点がある。1点目は具体的な施策がないこと。30by30では国がエリアベースで保全地区を認定していくので市内の事業者や団体が認定を受けられるように支援、推進して

いくことを明記してはどうか。

2点目として、30by30に触れているのが具体的な施策を示す第4章の「目指すべき将来像を実現するための施策」のみであるのが気になった。全体的なバランスを考えると施策の背景や将来像のところで先に言及するのが望ましいのではないか。1ページの社会情勢でSDGsまでは触れているのでその後にCOP15を追記すれば最新の情報をもとに策定していることが伝えられる。

そのほか、7ページの愛知目標を昆明・モンリオール生物多様性条約に更新してほしい。

次に23ページあたりの現況について、市内の様々な情報を落とし込んだ地図を入れてほしい。素案では文字で羅列されているだけでわかりにくいと思う。例えば市内の天然記念物の位置やレッドデータブックといった生物の情報から特定植物群落調査の情報や現存植生図、快適環境形成機能維持増進森林区域など植生の情報までを網羅した地図を掲載するとわかりやすくなると思う。基礎情報が必要であれば持っている情報を提供できる。

(事務局)

別途個別に詳しく相談させていただきたい。

(平井会長)

基礎自治体では生物多様性戦略は推奨事項となっているが、どうか。

(事務局)

現状データがないので厳しい。載せられるデータがあるのであれば盛り込みたいので浅見委員にも相談したうえで検討したい。

(平井会長)

今後の流れはどうなるのか。

(事務局)

パブリックコメントが1月下旬に終わるので2月の上旬か中旬に改めて審議会を開きたい。

(平井会長)

では2月の審議会でパブリックコメントを含めた審議会としての意見をまとめ、それをもって3月の審議会で市長へ答申を行いたい。

その他

(事務局)

前回の審議会で伺った質問について事業者より回答があったので報告する。内容は別紙のとおり。

また味の素食品(株)の村上委員が異動されるということで後任の戸塚委員へ委嘱させていただく。なお本日はzoomでのご参加ということもあり、後日会社の方へ委嘱状をもって伺う。

次回の審議会については日程が決まり次第連絡する。

以上

